

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel.045-894-7474

炭小屋に思いをよせて

1 ZFCの本陣(炭小屋)の一日

土曜日には、少し早めに家を出て ZFC の本陣炭小屋に向かう。それでも既に先着さんが何名も落ち葉を掃いていることが多い。着いて間もなく大きなリックを背負った笑顔の仲間が続々と集まって来る。これが炭小屋で一番いいところだ。

いつもラジオ体操で朝会が始まり、観察センター指示で朝会が終わる。これもまた我が ZFC 本陣の変わらぬ儀式である。これが終わると、唐ネズの除伐やクヌギ林の下草刈り現場に向かう。いずれの作業も刃物を使うので、「怪我をしないように」気を引き締める。夏場は蚊がしつこいし、スズメ蜂にも注意しなければならない。自宅から炭小屋に向かう道中は、鼻歌交じりのリラックス気分だ。でも現場に着くと気持ちを切り替え、細心の注意を払いながら汗を流す。どのコースを歩いて炭小屋に向かっても、急な山坂を登らなければ行けないので、健康管理が最大の課題だと思う。

2 水曜日の活動再開は白紙から

多くの会員が活動再開を望んでいるのに、動き出せないのは何故なのか。様々な原因が考えられるが、これまでの活動が「間伐材の有効活用」を大義名分にして、木工に偏り過ぎた感が否めない。これまで会員が丹精込めて作ったベンチが観察の森から一斉に姿を消し、今後木製ベンチの作成依頼は望めないだけでなく、間伐材の有効活用の大黒柱を失った感すらある。そのほかにも諸々の事情で活動全体が一時中断し、大震災の影響があまりにも大きく間伐作業が停滞し、製材するにも丸太材に事欠く状態だ。誰が見ても、水曜日の活動再開に向けた環境があまりにも変わり過ぎ、これまで同様の活動再開をいくら叫んでも、展望が開けないのが明らかだ。

そこで私は、これを絶好の改革機会と捉え、以前の活動と決別した上で、新しい活動再開に向けて検討に入るべきだと思う。活動の方向性は、公共用地を活動舞台にしていることにかんがみ、日頃から我々 ZFC を支援指導に携わっている観察センターのレンジャー各位の指導を仰ぎ、会員の意思で決めなければならない。

私は、水曜日の炭小屋に限定して、炭小屋を会員と市民が交流する「交流の場」に位置づけて、これまで同様に開放し、スプリングフェアのミニ版のような形式で、ZFC 活動で普段我々が使っている道具や工具類を展示し、希望者には丸太切りや木工の実演と体験指導を行なう等、均衡がとれた活動に繋げるべきだと思う。

3 小屋に来客用のテーブル設置を

自然観察の森に癒しを求めて来た子連れの方や、体調不良の方などが、これまで何度も、「休ませてください」等と炭小屋に立ち寄ったことがありました。最近炭小屋前の道路が舗装され、車椅子等でも容易に往来できる環境になったものの、困った方などが一時的に立ち寄れる場所があってもいいのではないかと思います。

そこで、森の家と観察センターの中間にある炭小屋の地の利を生かし、来訪者が何ら気がねしないで立ち寄り、休憩し、雨宿りし、或は弁当を食べ、短時間でも歓談できる様なエリアを炭小屋の適宜な一角に設け、前記の「交流の場」にも活用してはと思う。会員不在時でも自由に利用できるように工夫し、ZFC 会員による組織的な公衆応接活動を行なうことで、雑木林ファンクラブに対する公用地提供にも応えるべきではないだろうか。

工藤国敏

1. 2012年9月の主な活動報告

- ① 8月25日(土) 17人 桜林の草刈り、秋楡の伐倒、炭窯修理
ZFC 通信印刷・発送
- ② 9月1日(土) 14人 池の上クヌギ林の草刈り、竹箒の材取り
クヌギ林植生調査
- ③ 9月8日(土) 15人 トウネズ・秋楡伐倒、炭小屋周辺草刈り
- ④ 9月15日(土) 25人 運営会、バーベキュー大会

2. 運営会<9月15日>報告

- ① 9月23日の炭焼き体験最終確認・・・進め方、担当等の最終確認を行った。
- ② 10月21日森ボラ・間伐体験・・・具体的な事柄について後日検討する事になった。
- ③ キャンドルナイトについて・・・参加の可否について議論した結果、今年は積極的に対応しない事になった。
- ④ 11月15日栄高校三世代地域交流会・・・例年の通り「しめ縄づくり」で協力することとし、ZFCから大越さん、佐野さん他数名が協力する事とする。
- ⑤ センター古南チーフ、大越代表からそれぞれ作業にあたって準備、確認の徹底をし、安全・安心の確保をするよう要請があった。
- ⑥ 忘年会は12月15日を予定する。
- ⑦ 10月28日 JFE(鉄鋼会社)社員40名がボランティア活動で観察の森に来るので一部活動についてZFCに協力要請があった。

3. 10月度活動予定

- ① 9月22日(土) トウネズ2本、秋楡2本伐倒、製材、炭焼き体験準備
- ② 9月23日(日) 炭焼き体験
- ③ 9月29日(土) 自主活動日
- ④ 10月6日(土) 草刈り(クヌギ林残り)、13日の秋楡伐倒の準備(枝落としなど)、杉・檜伐倒調査
- ⑤ 10月13日(土) 秋楡除伐(クヌギ林への下り口の8本)、製材、草刈り(桜林の残り)
- ⑥ 10月20日(土) 草刈り(池の上クヌギ林残り)、運営会、ゴロ報印刷等
- ⑦ 10月21日(日) 森ボラ・間伐体験
- ⑧ 10月27日(土) 秋楡除伐(13日の続き)、製材

4. 編集後記

以上